

保護者 様

浜松市立気田小学校長 小澤 真喜子

令和7年度 学校教育アンケート結果報告

保護者の皆様方には、日頃より、気田小学校の教育活動に御支援、御協力をいただき、ありがとうございます。

2 学期末に行いました学校教育アンケートで以下のような結果となりましたので、御報告します。別添のグラフと合わせて御覧下さい。

また、この結果を踏まえ、学校教育を推進してまいりますので、今後共よろしく願いいたします。アンケートへの御協力ありがとうございました。

3者比較の分析

※評価が高いもの・・・青 評価が低いもの・・・オレンジ

1. 成果

「⑨自分や周りの人を大切にする姿勢」

「自分や周りを大切にし、感謝の気持ちで生活している」という設問では、全学年で高い意識が見られます。

「⑰命の教育の実践」

命の大切さや自分を守る行動への意識が全学年で非常に高く、教師の意識も高い傾向にあります。

「⑩健康的な生活習慣」

「健康的な生活を送り、安全に過ごそうとしている」という意識が、前期に比べ後期に改善されました。

「⑭学校の楽しさ」

「学校に行くのが楽しい」という児童の回答が後期において概ね高い水準を維持しています。

「⑱達成感の定着」

「できた・わかった・がんばった」と言えることがあるという問いに肯定的な児童は、後期に全学年で100%となりました。

今年度までの取り組みの成果があらわれ、自他を大切にする心と学校生活への満足度・自己肯定感が育ってきています。今後も合い言葉「できた・わかった・がんばった」を意識付け、学校生活のいろいろな場面で励ましていきたいと思えます。

「⑭学校の楽しさ」でも成果が出ているように、安心・安全な学級作りに努めています。今後も定期的にいじめ対応について振り返りをし、子供たちの実態に合った持続可能なものになるよう組織で対応していきたいと思えます。

2. 課題

「④児童の読書離れ」

「本を読む習慣が身に付いている」と回答した児童の割合が低下しており、保護者の評価も低い傾向にあります。

【改善策】来年度も読書の時間を確保するために、朝読書、読み聞かせの時間をなるべく保障するようにします。雨の日などで昼休みに運動場が使用不可の日には体育館使用ではなく、図書室に行く日と設定するなど図書室利用を増やしていきます。また、冊数を求めるのではなく、学年ごとに決められている推薦図書の読破を目指すように声掛けをしていきます。

「①自分事としての学習」

授業に「自分事」として臨んでいるという評価が低下しています。また、「進んで発表したり、相手を意識して聞いたりしている」という肯定的な回答も減少しており、学年が上がるにつれて対話への積極性や対話力の育成に課題が見られます。

【改善策】来年度の研修テーマを「個別最適な学びと協働的な学びを通して学ぶ楽しさを実感させる」としました。「学ぶ楽しさ」の解釈としては、課題を自分事として捉え、「意欲的に学ぶ楽しさ」「学び方を自分で選び、主体的に学習に取り組む楽しさ」としました。そのために指導内容において、個々の段階に合わせた指導の個別化や学習の個性化を図っていくことに重点をおきます。また、対話力を高めるために、心理的安全性の土壌づくりとして温かい学級経営づくりに努め、聞き手の評価を徹底し、失敗を恐れず発言できる空気感を作るように努力していきます。また、積極的に ICT を有効活用し、協働的な学びを進めていきたいと思えます。

「⑤挨拶の実践」

「自分からあいさつしている」という児童が低下しています。また、教師・保護者ともに評価が低い傾向にあります。

【改善策】校内での決められた場所、時間においては元気よく挨拶ができていますが、これは子供達にとってルール（義務）となっている可能性があります。また、委員会主催の「あいさつ週間」では放送で名前を紹介されることが嬉しいため積極的に挨拶していますが、挨拶がコミュニケーションとして捉えられていないことには課題が残ります。挨拶が楽しく気持ちの良いものとなるよう、場の雰囲気工夫したり、形だけのイベントにならないようにしたりするなど、子供と共に考えていきたいと思えます。

「⑥言葉遣い」児童の評価は肯定的な回答が増加していますが、教師・保護者の回答は低く、課題が残ります。

【改善策】言葉遣いについては、SNS やゲームの言葉遣いそのまま対人関係に持ち込まれている現状があります。学校では相手を傷つける言葉と言われて嬉しい言葉について日頃から指導していきます。それとともに、家庭でも意識して協力してもらうようお願いします。

「⑧自己の良さの再認識」 「自分のよいところがわかり、自分らしく生活している」という設問の肯定的な回答が低下傾向にあります。

【改善策】 自己肯定感は他人からの承認不足が原因の一つとして考えられるので、学習評価の良し悪しではなく、目に見えにくい良さを教師が具体的に価値づけし伝えるように努力していきます。また、帰りの会などで友達の良さを見つけて伝えることを日常に取り入れ、学級への所属感を感じられるようにしたいと思います。